

行財政・防災危機管理対策特別委員会

- 1 開催日時 令和5年10月10日（火） 9時57分～11時40分
- 2 開催場所 第三委員会室
- 3 説明員 知事公室長および関係職員

4 議事の概要

（1）災害時に備えた県職員の人材育成の取組について

委員からは、南海トラフ地震や琵琶湖西岸断層帯を震源とする地震については、県域に関わらず関西全体で取り組む必要があるので、知事が関西広域連合長を務める滋賀県としては、広域の職員研修や訓練など、構成府県市が連携を密にし、互いに先進的な良い事例を取り入れられるよう取り組まれない、などの意見が出された。

（2）出水期における水位上昇対応（県と市町の連携）について

委員からは、地域の自主的な水防団活動において命の危険がある作業をお願いする時代ではなくなっている、水防団出動の目安を定められているが、どこまでを求めるのか、市町の所管部分ではあるが連携しながら検討されたい、また、緊急時の危険な現場には、人を派遣するのではなく遠隔操作の重機が役に立つので、そういった機械を取り入れた訓練なども今後検討されたい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 災害時に備えた県職員の人材育成の取組について
- 2 出水期における水位上昇対応（県と市町の連携）について